

2025年度 京都文教大学大学院 臨床心理学研究科

－博士後期課程－

春期入学試験問題

英語

受験番号：

氏名：

実施日

2025年2月15日（土）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子に、問題文1枚（3ページ）、解答用紙1枚、下書き用紙1枚を挟んでいます。
3. 問題冊子、解答用紙、下書き用紙に受験番号と氏名を記入してください。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答を終えたら、問題冊子、解答用紙、下書き用紙の順に机の上に重ね、時間の終了を待ってください。
6. 試験終了後、この問題冊子を回収します。
7. 何か疑問な点があれば静かに挙手をし、監督者の指示に従ってください。
8. 不正行為について
 - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取り止めさせ退室させます。

第 I 問 次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係により、当該部分は掲載していません。

(Bernardi, R., 2022, p.71 より。)

Bernardi, R. (2022) Moving from clinical inquiry to clinical research, in :Altman de Litvan, M. (Ed.) (2022) Clinical Research in Psychoanalysis: Theoretical Basis and Experiences through Working Parties. Abingdon, Oxon; New York, NY: Routledge.

問 1 下線部①を日本語に訳しなさい。

問 2 下線部②を日本語に訳し、その意味を説明しなさい。

問 3 下線部③を日本語に訳しなさい。

第Ⅱ問 次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係により、当該部分は掲載していません。

(Bager-Charleson, S. & McBeath, A. (Eds.), p.230-231 より。一部改変)

Bager-Charleson, S. & McBeath, A. (Eds.) (2022) Supporting Research in Counselling and Psychotherapy: Qualitative, Quantitative, and Mixed Methods Research. London: Palgrave McMillan.

問1 下線部①Qualitatively-driven mixed methods の効用は何か。下線部①を訳し、本文に即して日本語で簡潔に説明しなさい。

問2 文中の Research Example について、次の質問に答えなさい。

- (1) この研究のタイトルを日本語に訳しなさい。
- (2) この研究の研究設問(リサーチ・クエスチョン)を日本語で説明しなさい。
- (3) 量的研究部分の目的を日本語で簡潔に説明しなさい。
- (4) 質的研究部分の協力者を絞り込んだ条件と設定の理由を簡潔に説明しなさい。

問 3 下線部②の IPA は質的研究法の Interpretative Phenomenological Analysis の略称である。この用語を日本語に訳し、以下の説明文からその説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- イ) 協力者の発言を研究者が自由に解釈して仮説に合ったストーリーを作成する。
- ロ) 協力者の行動を録画して観察し、カテゴリーに合致した行動の頻度を比較する。
- ハ) 協力者が外国語で発言した内容を一般的な言語に翻訳してテキストデータを作成する。
- ニ) 協力者の発言の背後にある意図や文脈を研究者が推察した内容もデータとして活用する。

問 4 下線部③を日本語に訳しなさい。